

要求書受領に係る対応概要（支部・青年部）

課所等名	日時	場所	出席者		発言要旨
			当局	職員団体	
総務課	令和3年7月1日(木) 17:30~17:40 (10分間)	留萌開発建設部 第2会議室	留萌開発建設部 部長 村山 雅昭 次長(総務担当) 齊藤 幸裕 総務課長 松本 幸樹	全北海道開発局労働組合留萌支部 執行委員長 加藤 健吾 副執行委員長 関口 智也 書記長 高松 洋	○職員団体側 2022年度勤務条件改善に関する要求を取りまとめたので、要求書を提出する。 ○当局側 交渉議題等については、予備交渉において整理することとしたい。

注 ホームページへ掲載の際は、要求書を添付

2021年7月1日

留萌開発建設部

部長 村山雅昭 殿

全北海道開発局労働組合留萌支部

執行委員長 加藤健吾



## 2022年度勤務条件改善に関する要求書

北海道開発局に勤務する私たちは、定員削減による厳しい定員配置の状況にありつつも、膨大な事業量に対応するため、劣悪な勤務条件の下、開発事業推進に日々努めています。

超過勤務の縮減や健康安全管理など、職員の勤務条件を改善するためには、業務改善はもちろん、定員をはじめ、組織、級別定数、施設・機械等の改善が必要であることは言うまでもありません。2022年度予算概算要求期に当たり、職員の勤務条件を改善するための事項について、以下のとおり要求を取りまとめましたので、貴職におかれては、組合の意見を十分に聴くとともに、職場実態を十分把握し、本省等関係機関への働きかけを含め当局の責任において勤務条件改善の努力をされるよう要求します。

### 要 求 事 項

1. 職員の給与水準改善するため、人事院等関係機関へ次のとおり働きかけること。
  - (1)2021年の給与改定勧告に当たっては、職員の月例給与の水準維持を最低とし、公平・公正で客観的な官民比較に基づき、公務員連絡会と十分交渉・協議し、合意に基づいて行うこと。
  - (2)一時金については、精確な民間実態の把握と官民比較を行い、職員の生活を守る支給月数を確保すること。
  - (3)諸手当については、次のとおり改めること。
    - ① 社会経済情勢の変化、職員の職務や生活実態を踏まえて改善することとし、公務員連絡会と十分交渉・協議し、合意に基づいて勧告作業を進めること。
    - ② 別紙の特殊勤務手当について改善すること。
  - (4)再任用職員の給与制度については、経済的負担、定年前職員との均衡を考慮して改善することとし、公務員連絡会と十分交渉・協議し、合意に基づいて行うこと。
2. 新型コロナウイルス感染症への対応について
  - (1)新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、職場の実態を踏まえた感染防止対策や安全確保を強化するとともに、勤務条件を改善すること。特に、在宅勤務やテレワークの課題等を把握し、必要な対応策を講じること。
3. 職員のワーク・ライフ・バランスを実現するため、「働き方改革」等を次のとおり進めること。
  - (1)必要な定員を確保するとともに、当面の要員不足解消に必要な非常勤職員を雇用すること。  
なお、新たな定員削減の実施に当たっては、組合の意見を十分に聴き、一方的に実施しないこと。
  - (2)超過勤務を縮減するため、ICT等を活用した職場における厳格な勤務時間管理を直ちに実施するとともに、事前の超過勤務命令を徹底すること。
  - (3)超過勤務時間の上限規制の取扱いの厳格化を図り、より実効性のある超過勤務縮減策を具体化し着実に実施すること。

- (4) 超過勤務の着実な縮減に向け、本省等関係機関に対し積極的役割を果たすよう働きかけること。
- (5) 1 か月当たり45時間を超え60時間以内の超過勤務に対する手当の割増率を引き上げること。あわせて、超過勤務手当の全額支給の徹底について必要な対応を図ること。
- (6) 「勤務間インターバル」を確保すること。
- (7) 家族介護を理由とした離職を防止するため、介護休業制度を整備すること。
- (8) 妊娠・出産・育児に関わる休暇制度について、取得しやすい環境整備の推進と子の年齢制限の緩和や不妊治療のための休暇新設を含め改善を図ること。

#### 4. 職員の雇用と年金の確実な接続を図るため、次のとおり改善すること。

- (1) 希望する職員全員のフルタイム官職の再任用をすること。
- (2) やむを得ず短時間勤務の官職に再任用となった場合も、諸手当の支給や官舎入居など勤務諸条件にフルタイム官職との差を生じさせないこと。

#### 5. 職員の処遇を改善するため、組織(機構)関係について次のとおり進めること。

- (1) 組織の統廃合の実施に当たっては、組合の意見を十分に聴き、意見一致しないものは一方的に実施しないこと。
- (2) 級別標準職務表上、北海道開発局の位置付けを上位に格付けすること。
- (3) 事業に必要な課・係(事業所等含む)を新設すること。
- (4) スタッフ制を拡大すること。
- (5) 部局専門官・開発専門職等を拡大すること。

#### 6. 職員の処遇を改善するため、級別定数関係について次のとおり進めること。

##### 行(一)関係

- ① 部局課長補佐・上席専門官の5級枠を拡大すること。
- ② 専門官・係長・開発専門職の4級枠を拡大すること。
- ③ 開発専門職・主任の3級枠を確保すること。
- ④ 再任用職員の上位級定数枠を確保すること。

#### 7. 非常勤職員の処遇を改善するため、次のとおり進めること。

- (1) 同一労働同一賃金をはじめとする均等待遇原則に基づき、非常勤職員の給与を引き上げること。また、休暇制度等についても、常勤職員との均衡を基本として改善するよう努力すること。
- (2) 改正後の「非常勤職員給与決定指針」等に基づき、着実な待遇改善に努めること。
- (3) 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、非常勤職員への雇用・待遇等に影響することのないようにすること。
- (4) 期間業務職員制度について、当該職員の雇用の安定と待遇の改善となるよう、適切に運用し、必要な措置を講じること。
- (5) 非常勤職員(期間業務職員)の雇用に当たっては、雇用期間満了後も正規の手続きに基づき継続雇用すること。
- (6) 非常勤職員制度の改善に関するこれまでの取組みを踏まえ、制度の抜本的改善に向けて努力すること。

#### 8. 職場及び宿舎環境を改善するため、別紙の庁舎・宿舎等について修繕等を行うこと。

#### 9. 職員の安全管理を徹底するため、別紙の建設機械・船舶等について更新等を行うこと。

#### 10. 職員の健康安全管理を徹底するため、特別健康診断経費等について次のとおり確保すること。

- (1) 人事院規則10-4第20条及び人事院規則10-5第26条の規定に基づく特別健康診

断の完全実施に必要な経費(定員職員及び非常勤職員分)を確保すること。

(2)人事院規則10-4の規定に基づく職員の身体生命の安全保持のための対策強化に必要な経費(定員職員及び非常勤職員分)を確保すること。

1 1. 職員の健康安全管理を徹底するため、福利厚生施策について次のとおり進めること。

(1)心の健康づくりについては、勤務条件や職場環境の改善など総合的に推進することとし、ストレスチェックや「職員の心の健康づくりのための指針」等に基づく施策の着実な推進を図ること。

(2)ハラスメントについて、その防止に向けて、一層有効な対策を着実に推進すること。パワーハラスメント対策については、昨年施行された人事院規則10-16に基づき適切に対処すること。特に、新型コロナウイルス感染拡大に伴う業務によって、職員が行政サービス利用者等から負荷を受けることがないように配慮すること。

1 2. 工事諸費等事務費について改善を図るとともに、予算を確保し、超勤縮減方策をはじめとする業務改善方策が十分実行できるようにすること。特に、転居を伴う赴任旅費について、次のとおり改善すること。

(1)旅費法を改正し、移転料の定額を増額すること。

(2)対象外経費となっている項目について、対象経費とすること。

(3)当面、実費支給となるよう財務大臣協議を行うこと。

(4)実費支給のための請求手続を簡素化すること。

1 3. 女性公務員の採用等の推進について

(1)女性国家公務員の採用・登用・職域拡大の着実な推進に向け、努力すること。

1 4. 障がい者雇用について

(1)障がい者が、無理なく、かつ安定的に働くことができるよう環境整備を図るなど、使用者としての責任を適切に果たすこと。

以 上



# 2022年度 特殊勤務手当要求

要求区分	手当の名称	要求理由
新設	①公物管理交渉等手当	不法占用、占用料徴収、国家賠償案件、その他苦情処理などの対応は勤務時間内外問わず、罵倒・暴言を浴びせられることもあり、肉体的・精神的にも苦痛を伴う業務である。
適用範囲の拡大	①用地交渉等手当	イ. 第1回目(説明段階)からの適用 ロ. 個別交渉別に支給
	②道路上作業手当	ハ. 電話での交渉時に支給 イ. 警報発令下における道路パトロール業務に従事 ロ. 道路上での検査・立会(用地・管理担当)への適用
	③高所作業手当	斜度40度以上の箇所で行う測量・調査業務
	①高所作業手当	
増額	②道路上作業手当	
	③用地交渉等手当	
	④坑内作業手当	危険性・困難性に見合った単価の改定
	⑤災害応急作業等手当	
	⑥水上等作業手当	
⑦山上等作業手当		

# (様式1) 定員要求調書

別紙

課所	職員配置数 (2021.6.1現在)				2022年度定員増加要求数				備考
	行(一)		行(二)		行(一)		合計		
	事務	技術	事務	技術	事務	技術	事務	技術	
経理課	12(3)		12(3)		2				物品・管財ST、出納STの業務繁忙
留萌開発事務所	4(1)	17(5)			1				指導員の減に伴う定員要求(重要物品管理、損傷等対応による業務繁忙) 短時間再任用1
幌延河川事務所	2(1)	7(2)			1		1		事務は専門官減、技術は専門官欠による業務繁忙

# (様式2) 機械・船舶等要求調書

機械名	規格	配置箇所	増・更別		被更新対象機械		要求区分		備考
			増強	更新	規格	管理番号	新規	継続	
連絡車	4×4	留萌開発事務所	○				増強・更新の理由 慢性不足・林道等 悪路走行困難のため	○	SUV
パトロールカー	4×4	幌延河川事務所		○	4×4G	21-4104	老朽化(283, 824km)	○	

(様式3～1) 施設改善要求調書 (区分) 官庁営繕

課	所	改善区分	要求内容	要求額	要求理由	要求区分		備考
						新規	継続	
留萌開発建設部		特別修繕等	トイレ洗面台蛇口の混合水栓センサー付に改修		来庁者含めコロナ感染の不安から非接触型に改修	○		

(様式3～2) 施設改善要求調書 (区分) 事業営繕

支部名 留萌支部

課	所	改善区分	要求内容	要求額	要求理由	要求区分		備考
						新規	継続	
幌延河川事務所		建替			老朽化が著しく更衣室、休養室(男女)、ロッカー室が不足しているため。(新築が厳しいのであれば、増築及び改修を)		H30	



# (様式3～3) 施設改善要求調書 (区分) 宿 舎

宿舎名	所在地	改善区分	建築 年次	戸数	要 求 内 容	要 求 額	要 求 理 由		要求区分		備 考
							要 求 理 由	要 求 額	新規	継続	
幌延河川事務所宿舎 幌延町		増 築	S 46	7 戸	世帯用宿舎の確保		世帯用宿舎が全く無いため		H27	借上でも可	
天塩地域農業開発 事業所宿舎 天塩町		増 築	H5	5 戸	世帯用宿舎の確保 (残っている旧合宿所 部分の宿舎化)		世帯用宿舎が全く無いため		H30	借上でも可	
沖見町職員宿舎 (二) 単身宿舎 留萌市		補 修	H3	24 戸	水道蛇口の更新		老朽化しているため		R1		
沖見町職員宿舎 (二) 単身宿舎 留萌市		補 修	H3	24 戸	オール電化宿舎設備の 電気調理台の更新		老朽化しているため		R1		

☆ 改善区分には、新築・増築・増設・増設等を記入すること。 ☆ 要求区分で継続の場合は、要求初年度を記入すること (例～2015 年度の場合、㊤など)。

## (様式4) 組織(機構) 要求調査書

現 行	要 求	要 求 理 由	備 考
技術管理課 技術審査スタッフ 専門官 2	技術審査スタッフ 上席専門官 1 専門官 1	技術審査は審査体制の強化が図られ各事業部門の担当者に技術管理課への併任が発令、技術審査室の設置や審査体制が強化された。強化された業務の内容から経験豊富な上席を求める。	審査体制強化による体制強化
幌延河川事務所 総務課 総務専門官 1	総務課 総務専門官 2	総務専門官欠による業務繁忙のため増員を求めているところ、欠員を減されたことから、災害対応等に問題が生じるため、必要な経験のある専門官を求める。	業務繁忙のための体制強化。